

課題番号	応募者名	事業名	評価者の主なコメント	評価者のコメントに対する回答
J1807	新日鉄エンジニアリング株式会社	アスベストの無害化処理技術の開発	技術的な新規性が乏しく、既存技術の応用例である。	本技術開発は実機設備を用いた実用化のための検証事業であり、有害なアスベスト廃棄物を早期にかつ確実に無害化する技術を確立することを優先しました。
			アスベスト廃棄物の供給について、限界がどこにあるかを十分に検討すべきである。無害化についての成果は得られている。	実用化に向けて、アスベスト廃棄物の処理量の上限は、試験結果を踏まえ、処理対象物の性状毎に慎重に定める必要があると認識しています。
			今後の課題は、コークス使用量の低減化、経済性の追求、また投入部分の改善が必要である。	コークス使用量の低減は処理コストを下げるために重要な課題と認識しており、鋭意取り組んでいます。また投入方法については設備改造を含め、実用化を進める中で検討する予定です。
			通常運転における安全性が高いことが実証されたことは評価できる。ケイ藻プランクトンが繊維分として検出される可能性が興味深い。	珪藻プランクトン類がアスベスト繊維として定量されうことは新たな知見でした。今後、実用化段階では十分に留意すべきと考えています。